

ネットワークボード

9月、10月と史上最大規模の台風が立て続けに通過していきました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。各地の高齢者施設、障がい者施設など暮らしに欠かせない福祉サービスの拠点も大きな被害を受け、その復興にむけてまだまだ先の長い取り組みが続くという報道もありました。おかし屋ぱれっと、工房ぱれっとが属している「きょうされん」(共同作業所全国連絡会)では、右記の内容で、災害支援基金を募集しています。ここ数年、地震や台風、洪水による被害が多発していて、支援が必要な人たちが増えていく一方で、被害発生件数があまりにも多いため、寄付金がなかなか集まらないという声も聞きます。必要な人たちに迅速な支援を届けるためにも、皆様のご協力をお願いいたします。(編集部)

【きょうされん災害支援基金】

きょうされんは、自然災害における支援のために自然災害基金を常時、呼びかけています。先日の台風15号も含めて、今回の台風19号における必要な活動にも活用していきます。

(ホームページより)

●郵便振替●

<口座名義>

きょうされん自然災害支援基金

<口座番号>

00100-7-86225

【連絡先】きょうされん事務局

TEL03-5385-222 FAX 03-5385-2299

〒164-0011

東京都中野区中央5-41-18 東京都生協連会館4階



編集後記



今回の特集は、9月に実施された「モンゴル訪問・研修プロジェクト報告」でした。極寒と言われていましたが、季節的にはそこまでではなく、総勢10名の参加者は皆それぞれに積極的に役割を果たし、大きな自信と今後の可能性を持ち帰ってきました。10月22日に内部に向けて開かれたその報告会で印象的だったのは、ぱれっと親の会メンバーから「ほかのメンバーもぜひ海外に出て経験を積んで欲しい」という意見があったことです。少し前は「海外に行くなんて心配」「飛行機が大丈夫か・・・」という消極的意見も少なくありませんでしたが、成長して帰国する彼らの姿が、親の背中をも押ししているのではないかと感じて嬉しく思いました。それにしても、海外、特にアジアやアフリカの国々の現状に触れると、日本より明らかに遅れていると感じる反面、その発展の過程で私たちの国は「お互い様」「思いやり」・・・など何か大切なものを忘れてはいないか、などと顧みることも少なくありません。今一度そんなことも考えた報告会でした。(みなみやま)